

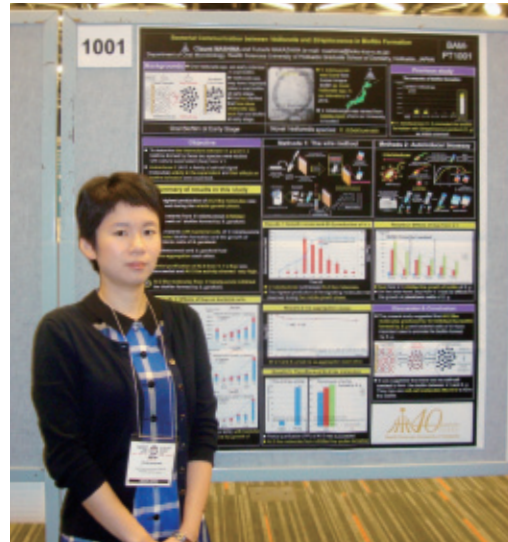
歯学領域で初受賞! 私立大学で3大学目の受賞!

本学大学院歯学研究科学生真島いづみさんが「第5回 日本学術振興会育志賞」を受賞!

第5回(平成26年度)日本学術振興会育志賞を本学大学院歯学研究科博士課程歯学専攻4年の真島いづみさんが受賞しました。「日本学術振興会育志賞」は、天皇陛下の御即位20年にあたり、若手研究者を支援・奨励するための事業の資として平成21年に陛下から御下賜金を賜り、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士課程学生を顕彰することを目的として平成22年度に創設されました。

毎年度の授賞者は16名程度で、授賞者には賞状、賞牌及び副賞として学業奨励金が贈呈されるほか、希望により翌年度からの日本学術振興会特別研究員として採用され研究費が支給されます。

これまでの5回の選考においては86名が受賞されていますが、歯科学領域では初受賞、私立大学ではこれまで2大学4名が受賞されており、本学は私立大学で3大学目の受賞となる極めて名誉ある受賞です。



●日本学術振興会育志賞とは

日本学術振興会は、天皇陛下の御即位20年にあたり、若手研究者を支援・奨励するための事業の資として、平成21年に陛下から御下賜金を賜った。このような天皇陛下のお気持ちを受け、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士課程学生を顕彰することを目的として、平成22年度に創設。

受賞者紹介

北海道医療大学大学院歯学研究科博士課程
歯学専攻4年生 (本学歯学部 歯学科 卒業)

真島 いづみさん



う蝕や歯周病の予防法開発のため、分子生物学的な歯垢形成制御の臨床応用を目的として、新細菌種 *Veillonella tobetsuensis* (ベリオネラ トウベツエンシス) の発見等、初期歯垢形成に重要な役割を担う口腔ベリオネラに関する一貫した研究を主体的且つ発展的に遂行。



選択培地上の「ベリオネラ トウベツエンシス」



特徴的な「ベリオネラ トウベツエンシス」の赤色コロニー

●大学院における研究成果

学術雑誌に掲載された英語論文11報(総説を含む)、国際学会発表10回、国内学会発表17回(すべての学術論文及び学会発表は第一著者として報告)

優れた研究成果は国内外から高く評価

- International Seminar "Update in Oral Biofilm and Odontology Forensic" (インドネシア大学:2012年)の特別講演者
- 第54回歯科基礎医学会学術大会サテライトシンポジウム(奥羽大学:2012年)におけるシンポジストに招聘
- Research for International Collaboration Award (Taipei Medical University:2014)を受賞
- IADR Unilever Hatton Division Award (Cape town, South Africa:2014)を受賞

受賞者の研究者としての資質が評価され、日本学術振興会主催の第5回HOPE Meetingのメンバー(2013年)に選抜され、ノーベル賞受賞者やアジア・オセアニア各国代表の大学院生及び若手研究者と交流のほか、受賞者の高い研究遂行能力が評価され、これまでの大学院生期間中に、研究奨励金獲得(日本細菌学会北海道支部会:2012・2013年/北海道医療大学歯学会:2012年)、一般財団法人岩垂育英会奨学生(全国歯科系大学院生から毎年10名程度採用)に3年連続、公益財団法人森田奨学育英会奨学生(歯科大学院最終学年生から毎年1名程度採用)や一般社団法人大学女性協会安井医学奨学生(2014年度採用枠:全国医歯薬系大学院女子学生から1名採用)に採用されています。